



池田市環境学習推進事業

令和5（2023）年度いけだ環境交流会（エコ活動報告会×環境学習交流会）実施報告書

1. 事業目的

近年、豪雨や台風など激甚な洪水氾濫や土砂災害を引き起こす気象災害が頻発しています。今後も気候変動による大雨や洪水の発生頻度が増加すると予想されており、更にこれらの気象災害と地震との複合災害への危惧など、これまでの想定を超える災害が各地で生じる時代に入ったことを認識する必要があります。

池田市において令和5（2023）年度に実施された環境施策について実施事例の共有を図り、環境保全活動の水平展開とSDGsの価値観による持続可能な社会構築の契機とすることを目的に本事業を開催しました。

2. 開催日 令和6（2024）年3月9日（土曜日）13時30分～15時30分

3. 会場 池田市立呉服小学校 体育館

4. 主催 池田市
企画運営事務局：NPO法人いけだエコスタッフ（池田市環境学習推進事業受託）

5. 実施内容

13時30分 開演 主催者挨拶

司会 池田市環境政策課 職員

13時40分 第1部 池田市の環境について

(1) 池田市の環境施策の実施状況について

報告者：池田市 まちづくり環境部 環境政策課
再生可能電力や環境配慮型機器の導入を中心に報告しました。

(2) エコミュージアムの活動報告

報告者：NPO法人いけだエコスタッフ（指定管理）
フードドライブ活動を中心に報告しました。

(3) 池田市環境学習推進事業の報告

報告者：NPO法人いけだエコスタッフ
令和5年度に市内小学校で実施された環境学習について報告しました。呉服小学校6年生の総合の学習の時間の一年間の活動を子どもたちが作成した動画にて発表しました。

14時10分 第2部 「Dr.ナダレンジャー自然災害科学実験教室」

Dr.ナダレンジャーが身近なものを使って考案・制作した道具で、様々な

自然災害の現象をわかりやすく楽しく実験や体験を交えて学びました。

- ・ナダレンジャー（雪崩実験）
- ・突風マシン（突風、台風実験）
- ・定常落石シミュレーター（落石実験）
- ・エッキー（液状化実験）実験キットを使った体験
- ・ゆらゆら（地震の揺れ実験）
- ・ブロック倒し（地震の揺れ実験） など

6. 参加者について

①参加対象 池田市に居住或いは通勤・通学する小学生以上の方 定員 50 名

②参加者数 77 名（学校関係者を含む）

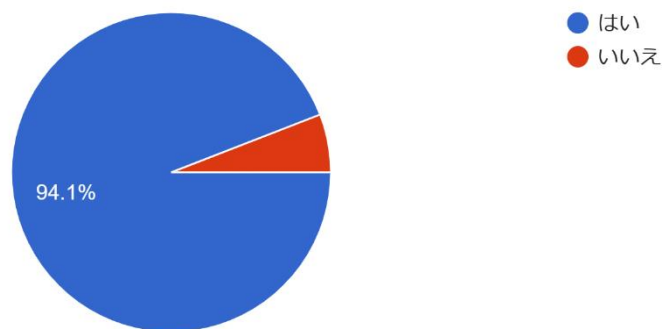
※申込者の状況 50 名

区分	申込件数
一般	3
教育関係	0
大学生	0
高校生	0
中学生	1
小学生	46
計	50

【アンケート結果】

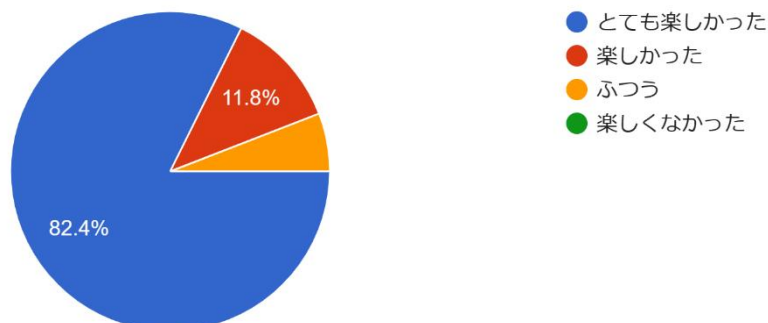
1. 「いけだ環境交流会」への参加は、はじめてですか？

17 件の回答



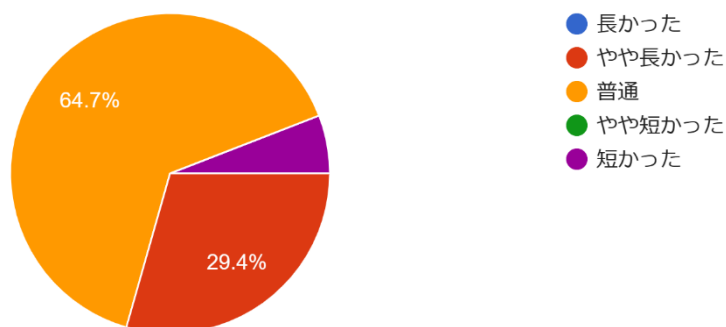
2. 今日の「いけだ環境交流会」に参加してどうでしたか？

17件の回答



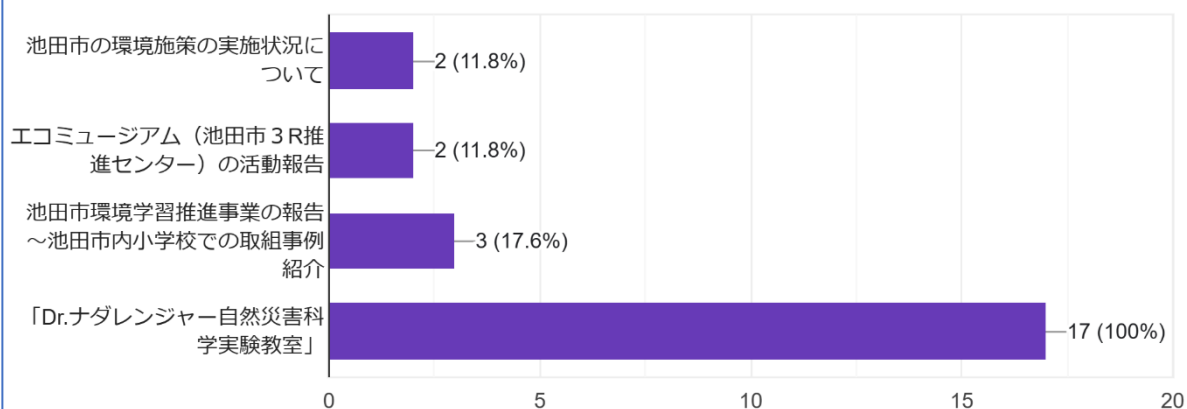
3. 今日の「いけだ環境交流会」の長さはどうでしたか？

17件の回答



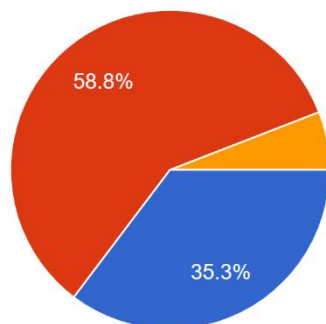
4. 今日の「いけだ環境交流会」のなかで、よかったのはどれですか？ ※複数回答可

17件の回答



5. また「いけだ環境交流会」に参加したいですか？

17件の回答



- 絶対参加したい
- 参加したい
- どちらでもよい
- 参加したくない

6. 今後ご希望のテーマなど 7件の回答

- 実験教室がほぼメインだと嬉しい。
- こどもが、飽きてしまうから。
- リサイクルやゴミ問題
- 猪名川の環境問題について
- 声がとにかく小さくて聞こえづらかったのが残念でした。ナダレンジャーさんはよかったと思いますが、子供向けのイベントと行政のことは相性が悪いのではないかと思います。
- 子供向けの実験で様々な事を紹介
- 今回のような防災実験
- ナダレンジャーが最高でした！

【実施の様子】

第1部 池田市の環境について



第2部 Dr.ナダレンジャー自然災害科学実験教室」

Dr.ナダレンジャー、助手のナダレンコ登場



突風マシンの威力はすさまじい



ナダレンジャーによる雪崩体験



定常落石シミュレーター
を使った落石実験



液状化実験をエッキーで体験 保護者の皆さんも参加



液状化実験で使ったエッキーは、
エコミュージアムにもあります。
お使いいただけます。



地震の揺れ実験「ゆらゆら・はいはい、ういーん」



ブロック倒して迫力を体感 (地震の揺れ実験)



【講師紹介】



Dr. ナダレンジャー 納口恭明 (のうぐちやすあき) さん
理学博士／つくば科学教育マイスター／茨城県おもしろ理科先生／元防災科学技術研究所総括主任研究員

1953年北海道出身。1981年北海道大学大学院理学研究科地球物理学専攻博士後期課程修了、理学博士。1981年～2023年防災科学技術研究所所属。自然災害のメカニズムを研究するかたわら、雪崩現象「ナダレンジャー」、液状化現象「エッキー」、

共振現象「ゆらゆら」、対流現象「タイリュウジャー」などを開発し、自らは「Dr. ナダレンジャー」に変身し、助手ナダレンコとともに、専門家から乳幼児までを対象にした自然災害の科学教育活動を実施。全国各地の科学館、学校（幼稚園～大学院）、ショッピングセンターなど、人の集まるところを回って、これまで4000回以上サイエンスショー形式の講義・講演を行っている。

[【公式ホームページ】Dr.ナダレンジャーの自然災害科学実験教室より引用](#)

主な著書

『Dr.ナダレンジャーの防災実験教室 地震・液状化・雪崩の科学』（2021年子どもの未来社）

→エコミュージアムでご覧いただけます。



以上